

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【公表番号】特表 2000-505072 (P2000-505072A)

【公表日】平成 12 年 4 月 25 日 (2000.4.25)

【出願番号】特願平 9-524869

【国際特許分類第 7 版】

C 07 D 223/04

A 61 P 25/18

A 61 P 43/00

A 61 K 31/4025

A 61 K 31/4439

A 61 K 31/506

A 61 K 31/55

A 61 K 31/5513

C 07 D 243/08

C 07 D 401/04

C 07 D 401/14

C 07 D 403/04

C 07 D 403/06

C 07 D 403/10

C 07 D 403/12

C 07 D 403/14

C 07 D 409/14

C 07 D 413/14

C 07 D 417/06

C 07 D 417/12

C 07 D 417/14

【F I】

C 07 D 223/04

A 61 K 31/00 6 2 6 G

A 61 K 31/00 6 4 3 D

A 61 K 31/40 6 0 4

A 61 K 31/44 6 1 3

A 61 K 31/505 6 0 1

A 61 K 31/55

A 61 K 31/55 6 0 2

C 07 D 243/08 5 0 5

C 07 D 401/04 2 2 3

C 07 D 401/04 2 2 5

C 07 D 401/04 2 4 3

C 07 D 401/04 2 4 5

C 07 D 401/14 2 0 7

C 07 D 401/14 2 2 3

C 07 D 401/14 2 2 5

C 07 D 401/14 2 3 9

C 07 D 401/14 2 4 3

C 07 D 401/14 2 4 5

C 07 D 403/04 2 2 5

C 0 7 D 403/04	2 3 9
C 0 7 D 403/06	2 2 3
C 0 7 D 403/06	2 4 3
C 0 7 D 403/10	2 0 7
C 0 7 D 403/12	2 2 3
C 0 7 D 403/12	2 2 5
C 0 7 D 403/12	2 3 9
C 0 7 D 403/12	2 4 3
C 0 7 D 403/14	2 0 7
C 0 7 D 403/14	2 0 9
C 0 7 D 403/14	2 2 3
C 0 7 D 403/14	2 2 5
C 0 7 D 403/14	2 3 9
C 0 7 D 409/14	2 3 9
C 0 7 D 413/14	2 3 9
C 0 7 D 417/06	2 2 1
C 0 7 D 417/06	2 4 3
C 0 7 D 417/06	2 4 5
C 0 7 D 417/12	2 2 1
C 0 7 D 417/12	2 2 5
C 0 7 D 417/12	2 4 3
C 0 7 D 417/12	2 4 5
C 0 7 D 417/14	2 0 7
C 0 7 D 417/14	2 2 3
C 0 7 D 417/14	2 2 5
C 0 7 D 417/14	2 3 9

**【手続補正書】****【提出日】**平成16年1月13日(2004.1.13)**【手続補正1】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**特許請求の範囲**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

## 手 続 補 正 書

平成 16 年 1 月 13 日

特 許 庁 長 官 殿

## 1. 事件の表示

平成 9 年 特 許 願 第 524869 号



## 2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 アボット ゲゼルシャフト ミット ベシュレンクテル ハ  
フツング ウント コンパニー コマンディトゲゼルシャフ  
ト

## 3. 代 理 人

住 所 東京都港区西新橋2丁目7番4号  
ドクトル・ゾンデルホフ法律事務所  
電話 03(3503)3303(代表)

氏 名 (6181) 弁理士 矢 野 敏 雄



## 4. 補正により増加する請求項の数 1

## 5. 補正対象書類名

請求の範囲

## 6. 補正対象項目名

請求の範囲

## 7. 補正の内容

別紙の通り

方 式 査

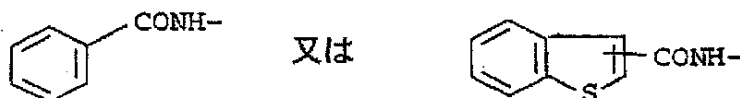


## 請 求 の 範 囲

## 1. 一般式 I



[式中

Ar<sup>1</sup>は

を表わすか又はO、N及びSの内互いに独立に選択された1、2又は3個のヘテロ原子を有する5員又は6員の芳香族ヘテロ単環を表わし、その際Ar<sup>1</sup>は互いに独立に、場合によりOR<sup>1</sup>、場合によりOH、OC<sub>1</sub>~C<sub>8</sub>アルキル又はハロゲンにより置換されているアルキル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>アルキニル、シクロアルキル、ハロゲン、CN、CO<sub>2</sub>R<sup>1</sup>、NO<sub>2</sub>、NR<sup>1</sup>R<sup>2</sup>、SR<sup>1</sup>、CF<sub>3</sub>、CHF<sub>2</sub>、場合によりC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、OC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、アシル、フェニル、アミノ、ニトロ、シアノ又はハロゲンにより置換されているフェニル、場合によりC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、OC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル又はハロゲンにより置換されているフェノキシ、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルカノイル、ベンゾイル又はヘテロ芳香族基から選択されている1、2、3個又は4個の置換基を有しており；

R<sup>1</sup>はH、場合によりOH、OC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、フェニル又はハロゲンにより置換されているアルキルを表わし；

R<sup>2</sup>はR<sup>1</sup>につき記載した意味を有するか又はCOR<sup>1</sup>又はCO<sub>2</sub>R<sup>1</sup>を表わし；

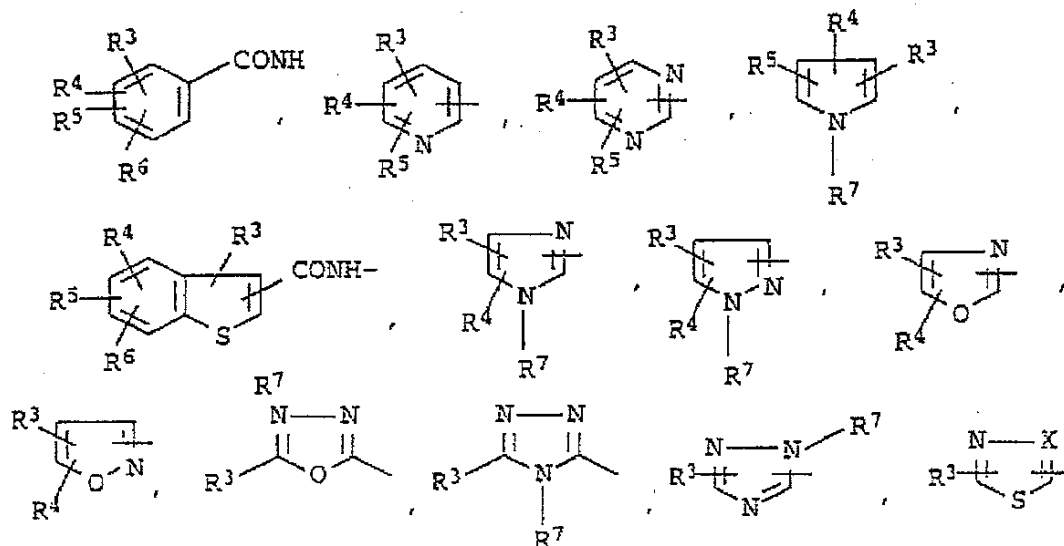
Aは、Ar<sup>1</sup>がC<sub>6</sub>H<sub>5</sub>CONHを表わす場合、C<sub>3</sub>~C<sub>15</sub>アルキレン基を表わすか、又はAr<sup>1</sup>が5員又は6員の芳香族ヘテロ単環を表わす場合、C<sub>4</sub>~C<sub>15</sub>アルキレン基又はO、S、NR<sup>1</sup>、二重結合及び三重結合の内選択された少なくとも1つの基Z（ここでR<sup>1</sup>は上記のように定義されている）を包含するC<sub>3</sub>~C<sub>15</sub>アルキレン基を表わし、

Bは1個又は2個の窒素ヘテロ原子を有する7員又は8員の飽和環を表わし、その際窒素ヘテロ原子は1，4位又は1，5位に存在し、環は1位で基Aに結合し

、及び4位又は5位で基Ar<sup>2</sup>に結合しており及びその際さらに環は3位又は4位に二重結合を有していてもよく；

Ar<sup>2</sup>はフェニル、ビリジル、ビリミジニル又はトリアジニルを表わし、その際 Ar<sup>2</sup>は場合により、OR<sup>1</sup>、アルキル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>アルキニル、アルコキシアルキル、ハロゲンアルキル、ハロゲン、CN、CO<sub>2</sub>R<sup>1</sup>、NO<sub>2</sub>、SO<sub>2</sub>R<sup>1</sup>、NR<sup>1</sup>R<sup>2</sup>、SO<sub>2</sub>NR<sup>1</sup>R<sup>2</sup>、SR<sup>1</sup>、5員又は6員の炭素環状芳香族又は非芳香族環及びO、S及びNの内で選択された1~3個のヘテロ原子を有する5員又は6員の、複素環式芳香族又は非芳香族環の内で互いに独立に選択された1、2、3個又は4個の置換基を有することができ、その際炭素環状環又は複素環式環は場合によりC<sub>1</sub>~C<sub>8</sub>アルキル、フェニル、ハロゲン、OC<sub>1</sub>~C<sub>8</sub>アルキル、OH、NO<sub>2</sub>又はCF<sub>3</sub>により置換されており、その際Ar<sup>2</sup>は場合により上記に定義した種類の炭素環状環と縮合されていてもよく及びその際Ar<sup>2</sup>は2個のヒドロキシ基で置換されているビリミジニル基を表わすことはできない]の化合物及びその生理学的に認容性の酸との塩。

## 2. Ar<sup>1</sup>が



〔式中

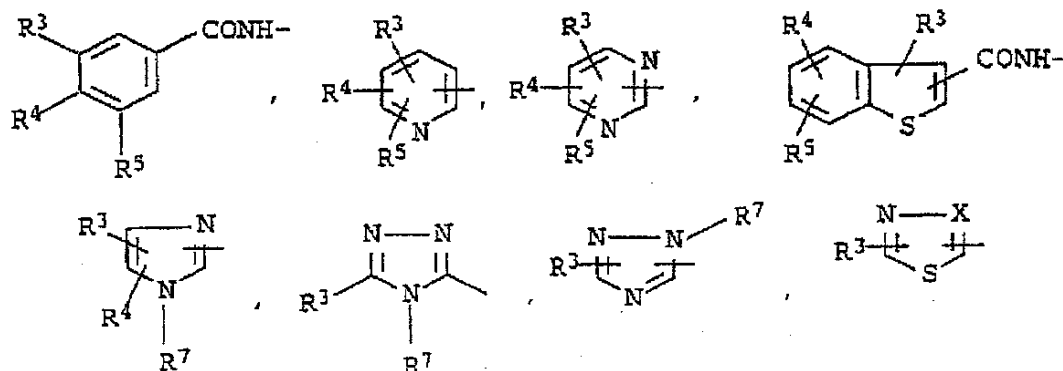
R<sup>3</sup>~R<sup>6</sup>は互いに独立にH又は請求項1に記載された基A r<sup>1</sup>の置換基を表わし

R<sup>7</sup>は請求項1においてR<sup>2</sup>につき記載された意味を有するか又はシクロアルキ

ルを表わし及び

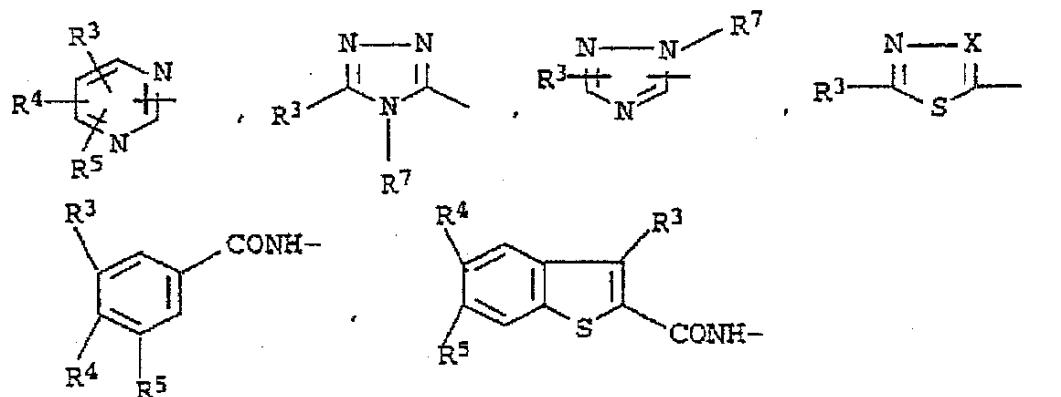
XはN又はCHを表わす] を表わす、式 I の請求項 1 記載の化合物。

3. Ar<sup>1</sup>が



[式中R<sup>3</sup>~R<sup>5</sup>、R<sup>7</sup>及びXは請求項 2 に記載された意味を有する] を表わす、式 I の請求項 1 記載の化合物。

4. Ar<sup>1</sup>が



[式中R<sup>3</sup>~R<sup>5</sup>、R<sup>7</sup>及びXは請求項 2 に記載された意味を有する] を表わす、式 I の請求項 3 記載の化合物。

5. R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>は互いに独立にH、OR<sup>1</sup>、アルキル、NR<sup>1</sup>R<sup>2</sup>、ハロゲン、フェノキシ、CN、場合によりC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、アシル又はハロゲンにより置換されているフェニル又はCOOR<sup>1</sup>を表わし；

R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は互いに独立にH、アルキル又はベンジルを表わし；

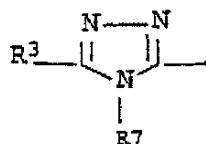
R<sup>7</sup>はH、アルキル又はシクロアルキルを表わし；及び

XはN又はCHを表わす、式 I の請求項 4 記載の化合物。

6.  $R^3 \sim R^6$ が、互いに独立にH、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $OR^1$ 、 $NR^1R^2$ 、場合により $C_1 \sim C_6$ アルキル、アシル又はハロゲンにより置換されているフェニル、及びハロゲンから選択されており、その際 $R^1$ 及び $R^2$ は上記に記載された意味を有し、 $R^7$ はH又はアルキルを表わし、XはNを表わす、請求項5記載の化合物。

7.  $Ar^1$ が、場合によりOH、Oアルキル又はOベンジルにより置換されているピリミジニルを表わす、請求項6記載の化合物。

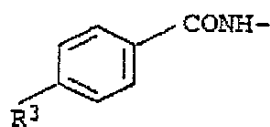
8.  $Ar^1$ が



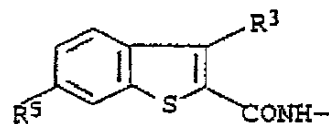
[式中 $R^3$ は $NR^1R^2$ を表わし、その際 $R^1$ 及び $R^2$ は請求項5に記載された意味を有し及び $R^7$ はH又はアルキルを表わす]を表わす、請求項6記載の化合物。

9.  $Ar^1$ が、場合により $NR^1R^2$ により置換されているチアジアゾールを表わし、その際 $R^1$ 及び $R^2$ は請求項5に記載された意味を有する、請求項6記載の化合物。

10.  $Ar^1$ が



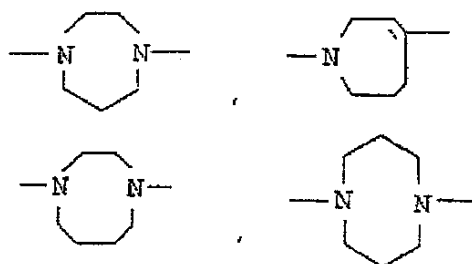
又は



[式中 $R^3$ 及び $R^5$ は互いに独立にH又はハロゲン、アルキル又はフェニルを表わす]を表わす、請求項6記載の化合物。

11. Aが $-Z-C_3 \sim C_6$ アルキレン、殊に $-Z-CH_2CH_2CH_2-$ 、 $-Z-CH_2CH_2CH_2CH_2-$ 、 $-Z-CH_2CH=CHCH_2-$ 、 $-Z-CH_2C(CH_3)=CHCH_2-$ 、 $-Z-CH_2C(=CH_2)CH_2-$ 、 $-Z-CH_2CH(CH_3)CH_2-$ を表わすか又は線状 $-Z-C_7 \sim C_{10}$ アルキレン基を表わし、その際Zは $Ar^1$ に結合していて、 $CH_2$ 、O又はSを表わす、式Iの請求項1から10までのいずれか1項記載の化合物。

12. Bが



を表わす、式 I の請求項 1 から 11 までのいずれか 1 項記載の化合物。

13. Ar<sup>2</sup>が、場合により、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>アルキニル、ハロゲン、CN、ハロゲンアルキル、Oアルキル、NO<sub>2</sub>、フェニル、ピロリル、イミダゾリル、ピラゾリル、チエニル、シクロペンチル及びシクロヘキシルの内、互いに独立に選択された 1 個又は 2 個の置換基を有するフェニル、ピリジニル又はピリミジニルを表わす、式 I の請求項 1 から 12 までのいずれか 1 項記載の化合物。

14. 1 個以上の置換基が、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、NO<sub>2</sub>及びハロゲンアルキル、殊に CF<sub>3</sub>、CHF<sub>2</sub>及び CF<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>の内から互いに独立に選択されている、式 I の請求項 13 記載の化合物。

15. 請求項 1 から 14 までのいずれか 1 項記載の少なくとも 1 つの化合物を、場合により生理学的に認容性の担体及び／又は助剤と一緒に含有する、ドーパミン D<sub>3</sub>-レセプターアンタゴニストないしはアゴニストに反応する疾病を治療するための医薬。

16. 請求項 1 から 14 までのいずれか 1 項記載の少なくとも 1 つの化合物を、場合により生理学的に認容性の担体及び／又は助剤と一緒に含有する、中枢神経系の障害を治療するための医薬。

17. 請求項 1 から 14 までのいずれか 1 項記載の少なくとも 1 つの化合物を、場合により生理学的に認容性の担体及び／又は助剤と一緒に含有する、精神分裂病、鬱病、ノイローゼ及び精神病を治療するための医薬。